

～ 大雪山国立公園の歴史 ～

昭和 6年	国立公園法公布される。
7年	国立公園委員会で全国12候補地に大雪山も含まれる。
9年	大雪山国立公園が指定される。面積226,781ha。
13年	厚生省設置。国立公園行政は体力局所管となる。
16年	太平洋戦争が始まる。国立公園は「銃後国民の体力錬成道場」として活用される。
28年	厚生省、国立公園管理員制度発足。 大雪山国立公園層雲峡管理員事務所開設。
29年	層雲峡集団施設地区を指定。
32年	自然公園法公布(国立公園法廃止)
40年	勇駒別集団施設地区を指定。
43年	糠平集団施設地区を指定。
46年	環境庁設置される。 大雪山国立公園に特別保護地区を指定。
47年	大雪山国立公園勇駒別管理員事務所開設。
52年	大雪山国立公園糠平管理員事務所開設。 十勝川源流部原生自然環境保全地域の指定に伴い、公園区域の一部を削除する。
平成5年	大雪山国立公園連絡協議会設立。
6年	ヒグマ情報センター整備、運用開始。
7年	公園区域の再検討により、面積226,764haとなる。 十勝三股集団施設地区を指定。 車馬乗入区域を指定。 第1種～第3種特別地域を指定。
12年	層雲峡ビジターセンター開館。
15年	公園計画の第1次点検。
18年	大雪山国立公園登山道管理水準、技術指針の策定。
19年	大雪山国立公園管理計画の策定
24年	登山道関係者による情報交換会(表大雪)
27年	登山道管理水準改訂。
28年	登山道技術指針改定。
30年	大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言。 登山道技術指針(実施手順マニュアル試験運用)
31年	公園計画の第2次点検。 十勝三股集団施設地区→十勝三股地区に変更
令和2年	大雪山国立公園管理事務所(東川管理官事務所、上士幌管理官事務所)へ改組。 大雪山国立公園ビジョン策定。 大雪山国立公園連絡協議会(総合型協議会)の立ち上げ。 → 登山道情報交換会を、表大雪/東大雪登山道部会に改組。